



2017



作：黒木 健史（通算 21 号）

民主教育の確立を！教え子を再び戦場へ送るな！

団結！北薩！

でも、がんばる行動

高校全入署名

8月いっぱい

はじめに・・・

7月号

「こんな人たちに負けるわけにいかない」で勝負あったという声があります。ときに権力者は暴走します。それは当然といえば当然であり、そのための「たが」が必要になります。その「たが」が「憲法」です。しかし、かつてのナチスドイツのように権力者は憲法をなきものにしようとします。憲法は「権力が行使される国民」を守るために生まれました。まさに立憲主義です。権力者は、行使を許され与えられた権力を、与え許した国民のために行使しなければなりません。

「こんな人たち」と発してしまうようでは、「たがために権力があるのか」をわかっていないと思われま。教育現場も然り。常日頃、「たがため」を軸に行動したいものです。

力量研 って？



力量研出水

ときどきお問い合わせがありますが、力量研は、「教職員」としての力量向上が目的の学習会です。一方、KJTU セミナーは、「組合員」としての力量向上が目的です。（北薩支部見解）さて、6/20（出水会館）は「子どもが主役の学級づくり」というテーマで退教協の古市安治さん、6/23（川内文化ホール）は「文化活動で学級・学校づくりをゆたかに」というテーマで熊本県教組の牧野幸さんを講師に迎え、力量研を開催しました。最近ではトップダウン的、画一的な教育方法が各校で展開されているように感じます。牧野さんは「学力工場」という表現をされましたが、教育は子どもの実態に合わせたオーダーメイドでなければなりません。そして、教師から一方通行ではなく、子どもの主体性を生かした通い合う「学び」こそが、憲法と子どもの権利条約の理念の則った真の教育ではないでしょうか？

力量研川薩



第10回 支部定期大会 (7/01 (土) 出水教育会館)

出水会館での開催は2年連続になりましたが、17年度の北薩支部の方針を決定するシブの最高決定機関です。開会行事では、出水退教協、高教組、連合北薩地協、ろうきんをはじめ多くの力強い連帯のあいさつをいただきました。その後、執行部からの提起となり、代議員からは質問や意見が活発になされ、学校現場のおかしさや深刻な課題など出席者全員で共有することができました。終了後は、恒例の野外バーベキューで反省会としました。執行部は、さらに気を引き締めて、教育行政と同様に、現場の声を最優先に日々精進して参ります。

ろうあんミーティングからの

みなさん、隔週の「シブ分会便」の封筒を開けていますか？ろうあんミーティングとは、7月で第58回を迎えた「労安対策会議」の新名称です。学校において、「校内衛生委員会」が開催されているはずですが、鹿教組方針のとおり「毎月開催」が基本です。その毎月の実践報告を中心に、学校における労安体制の確立をめざすのが、本会です。「分会員が衛生推進者になる」という方針を打ち出して数年になりますが、達成度はまだまだです。そして、17年度新たには「月に2回以上は年休をとる！！」という目標を掲げました。誰でも参加できますので、お気軽に！今回は8月4日（金）です。



第58回ろうあんM

組織の強化に関するお知らせ

さらに！8/23（水）13:30～ 鹿児島県教職員互助組合会館にて「労安セミナー」を開催します！

- ①前号で、「中学校区内分会交流のすすめ」と題して、長々と説明をしましたが、「交流」に対する支部補助を夏季休業中いっぱいまで延長します。すでに、出水地区協では「3」中学校区で開催され、評価も上々です。
- ②夏季休業中に、支部と地区協役員で分会訪問を実施します。事前に連絡をします。よろしくお願ひします

